

自閉症重度例における動作模倣の獲得について

Motor imitation won in the severe autism

林 文博

(児童発達支援センター りんどう学園/オフィス・スローライフ)

Fumihito Hayashi

(Child Development Support Center RindouGakuen/Office SlowLife)

Key words: motor imitation, severe autism, analysis of motion, number of training-day

はじめに)

模倣はヒトが人として社会的に成長して行く過程で最も重要なスキルである。この能力が十分に育たないのが自閉症の特徴のひとつである。今回、重度の自閉症児にマッチングと動作模倣を中心に訓練を行った。最初の「万歳」を獲得するまでに31訓練日を要し、動作模倣はマッチングに比較して獲得が極めて困難であった。本児の獲得動作について、動作の分析および獲得までの経過と日数の視点から考察した。

症例)

児童発達支援センター在籍の男児(4歳4ヶ月) 発達検査不可 脳波所見なし 癇癪(+) こだわり(+) 多動・奇声(+) 自傷(+) eye contact (-) 教室では、テーブルやピアノに登る、また食事以外はほとんど着席ができずに食事と隣の園児のものを手づかみで取るなど、日常生活の多くが問題行動であった。家庭でも保護者が気づくと隣家の食べ物を取りに行っていたなどの行動が目立った。一方で、父親に対して両手を上げて抱っこを要求する行動が観察された。本例に対して、2012年の9月より15年の3月まで「つみきBOOK」(藤坂, 2004)に基づいてマッチングと動作模倣を中心に訓練を行った。週平均1.7時間の訓練を2名の訓練者で約2年半行い、7つの模倣を獲得した。経過とともに自傷行為の減少や着席行動の増加などが観察され、14年9月よりPECSを家庭へ導入した。

介入と経過)

動作模倣は2012年9月より「片手を挙げる」(図1③)から始めたが、16訓練日経過時に正反応率が0%であったため中止し、視覚的な手がかりを伴う「握手」「タッチ」(両手)を導入した。「握手」は3訓練日目に、「タッチ」は2訓練日目に100%できるようになった。並行して、物を使った模倣と「万歳」①の訓練を12年11月より始めていたが、「万歳」も「片手」同様に出来なかったため「タッチ」の動作をプロンプトとして導入したところ正反応率が上がった(図1のA)。成功試行例は「タッチ」につられて両手が頭上を越え結果として「万歳」になったというもので手が伸びきった完全な「万歳」とは言えなかったが差別化して強化した。その後このプロンプト無しで31訓練日目(13年4月)に最初の動作模倣として獲得した。以後、「拍手」同②、中断していた「片手」同③、「お腹を叩く」同⑤、「おじぎ」同⑥を、30日前後の訓練日の間で獲得した。これら図1群はグラフが示す通り急激に正反応率を上げて100%に届き、後に安定して獲得できた模倣群である。一方、図2の群、「頭」④、「手合せ」同⑦、「ほっぺ」同⑧は、訓練開始後ほどなく正答率が上がったものの安定せず上下するなどの異なる経過を見せた。

考察)

先ず、図1の動作模倣群と図2の群の違いについて上肢の運動軌跡から分析した。図2の三つは、手を膝に置いた状態から挙上し目的の場所に持っていく「頭」④および「ほっぺ」⑧と、挙上後直ぐに胸の前で合わせる「手合せ」⑦である。これらは既に獲得していた「万歳」①と、両手という開始部位と運動方向が同じである点が共通し、両掌が終止し接触する部位のみが異なる。いわば「万歳」の亜型といえる。対して、図1の群は、運動開始時の部位が両手でなく「片手」③や両手を上げて掌を繰り返して合わせ音を鳴らす「拍手」②、両腕を側方へ上げて掌で「お腹を叩く」⑤、また腰部から体幹上部を前方に折る「おじぎ」⑥というように、運動の部位とその後の軌跡が図2群と異なる。図1の群全てで新しく学習しなければ完遂できない運動の方向とパターン、構成部分を有していた。

次に、図1の群において獲得までに約30訓練日を要した点であるが、訓練者の技量に左右される可能性は否定できないものの、動作模倣の獲得に30日が必要な例は少ないと考えられた。図2群の不安定な獲得経過に対して、図1群の動作模倣は最初の「万歳」を除いて、グラフが示すように徐々にではなく30日前後で急激にできるようになりその後は安定した。セッション数は33～74と幅が大きかった。26から31日という短期間に集中した獲得日数にどのような意味があるかは更なる検討が必要である。訓練者はひと月程で動作模倣を獲得できなかったが諦める可能性があるが、諦めずに訓練を続ければ動作模倣を獲得できることを示した。

